

0 理念・目的・教育目標

進捗状況報告

(1)「学生の多様な進路希望の実現に資する、高い社会的評価が得られる能力の習得」という目的を進めるために、08年度から経済学部との連携コースである「地域政策コース」を新たに開設した。本コースには、自治体行政に精通した教員2名（うち1名は現役の総務省官僚）を迎え、実務を意識した教育内容の充実を図っている。(2)08年度から新入生対象のオリエンテーションを学科別で行うこととし、学生の必要な情報がより確実に伝わるよう工夫している。(3)A号館に無線LANが設置されたことを受け、貸し出し用ノートパソコンを16台用意し、少人数の演習で積極的に活用を図り、演習授業の活性化を図っている。(4)コース制の成果をはかるために、キャリアセンターの協力を得てコース別の就職状況の把握に努めている。

学内第三者評価

経済学部との連携コースの開設にともない、自治体行政の実務に優れた教員が増員され、実務を重視した教育内容の充実が図られている。このことにより、「学生の多様な進路希望の実現に資する」教育に向かって前進していると認められる。法学部の理念・目的・教育目標を学生に周知させるために、今年度から新入生のオリエンテーションを学科別に実施するようになったが、その成果が期待される。また、コース別の就職状況の検証を始めているが、コース制の充実・発展につながることを期待される。基礎演習の改善や貸し出し用ノートパソコンの活用など、2003年度に目標として設定した少人数教育について改善が進んでいる。

なお、学外委員からは以下の意見があった。
学生の多様な進路希望の実現のための能力の習得という目的を進めるため、従来のコース編成を拡大し、「地域政策コース」を開設したことは、学生の能力を高め、進路を広げるための意欲的な取組として評価できる。パソコンを活用して演習授業の活性化のための努力もなされており、今後とも、人格形成のために個々の学生と向き合った少人数教育の充実が図られることが期待される。